

お客さまから「コーヒーに合う水は？」という質問をよく受けます。コーヒーは水分がほとんどの飲み物ですから、おいしいコーヒーにするには水がおいしいというのはとっても重要です。私は「おみそ汁を作っておいしく感じるお水ならコーヒーもおいしく入りますよ」とお答えします。

当店のある矢祭町はとってもお水のおいしいところなんです。この地に越してきてビックリしたのは、お水とお米と野菜、果物のおいしきでした。お店でお出ししているお水は、町の水道のものですが、浄水器等は一切使っていない蛇口から出てきたお水です。お店にいらしたお客さまが何人も「これほどこのわき水?」「地下水?」とお聞きになります。「水道の水ですよ」と言うとおビックリしていらっしやいます。中にはペットボトルに水を入れてお持ち帰りになる方もいらっしやるほどです。

民報 サロン

矢祭のおいしい水



長谷川 修司

りがたいことです。

さて、海外で一番気を使うのが飲み水です。二〇〇六年二月にグアテマラの農園に行ったのですが、以前にこの地を訪れた経験者に出発前に注意されたのが、飲み水と生野菜には気をつけろ、飲まないこと。教えを守り、現地では生水、生野菜を口にしないよ

うにしていましたが、水までは気付かず、デリケートな私のおなかは二日目から大変なことになりました。一緒にいった仲間全員と旅行に慣れているはずの同行した商社の方も同じ状態で大変な目に遭いました。農園の方がせっかくなりに用意してくれた食事も、仲間同士で「これは大丈夫だよね?」なんて目

それからというもの、海外の農園視察の時には整腸剤、正露丸を常備するようになりました。昨年パナマから陸路でコスタリカに入った時、出入国検査で手荷物物の検査がありました。方法はなんと芝生の上にスーツケースを並べ、一つずつ調べていくというものなんです。こちらは十五人くらいいるのに、係官は一人です。しかも詳しくは調べません。おおらかというか、なんというか。

日本人のスーツケースの中身に大変興味を持ったらしく、興味深げに検査していた若い男性の係官が「正露丸」を手に取り「これは何?」と質問してきました。身ぶり手ぶりで「ストマック(胃)ペイン(痛い)メディスン(薬)」と伝え「OK」となりほっと一息。中身を見せるなんて言われて、あのおいがかがれたら出国させてもらえなかつたかもしれませんね。

(矢祭町小田川、珈琲香坊店主)